

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2019年6月調査)

1. 業況判断

6月調査では、製造業、非製造業とも悪化したため、全産業では▲2と前回調査から7ポイント悪化した。因みに、前回調査では悪化、水準は▲5を予測していた。

製造業・・・はん用・生産用・業務用機械、電気機械などが悪化したため、全体では▲13と前回調査から11ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は▲13を予測していた。

非製造業・・・建設が改善したものの、卸・小売、運輸・郵便などが悪化したため、全体では7と前回調査から4ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は2を予測していた。

先行き (2019年9月予測) は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では▲8と6ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2018年度(実績) は、製造業は前年度比1.7%の増収、非製造業は同3.4%の増収となり、全産業では同2.5%の増収となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.5%)、非製造業(同4.7%)とも上方修正され、全産業では2.5%の上方修正となった。

2019年度(計画) は、製造業は前年度比1.2%の増収、非製造業は同0.5%の増収となり、全産業では同0.9%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率0.4%)、非製造業(同4.0%)とも上方修正され、全産業では2.1%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2018年度(実績) は、製造業は前年度比▲12.3%の減益、非製造業は同▲5.2%の減益となり、全産業では同▲10.1%の減益となった。

前回調査との比較では、製造業(修正率1.3%)は上方修正されたものの、

非製造業（同▲2.7%）が下方修正されたため、全産業では▲0.1%の下方修正となった。

2019年度（計画）は、製造業は前年度比▲4.0%の減益、非製造業は同▲17.1%の減益となり、全産業では同▲8.4%の減益計画。

前回調査との比較では、非製造業（修正率▲5.5%）は下方修正されたものの、製造業（同18.1%）が上方修正されたため、全産業では9.9%の上方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2018年度（実績）は、製造業は前年度比▲9.0%の減少、非製造業は同26.5%の増加となり、全産業では同3.2%の増加となった。

前回調査との比較では、製造業（修正率17.0%）、非製造業（同7.8%）とも上方修正されたため、全産業では13.0%の上方修正となった。

2019年度（計画）は、製造業は前年度比▲33.9%、非製造業は同▲34.3%の減少となり、全産業では同▲34.1%の減少計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲2.2%）は下方修正されたものの、非製造業（同8.6%）が上方修正されたため、全産業では2.1%の上方修正となった。

4. 雇用

雇用人員判断・・・製造業の「不足」超幅がわずかに縮小したため、全産業の「不足」超幅は▲27と前回調査比わずかに縮小。先行き（2019年9月予測）の「不足」超幅は再び拡大を予測。

新卒採用計画（全産業）・・・2019年度は、前回調査（2019年12月調査）から下方修正され前年を下回る計画（前年度比▲4.6%）。2020年度は前年を上回る計画（同7.1%）。

以上